

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1935	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 保育施設の充実 個別事業 私立保育園等施設整備への補助	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	子ども部・保育課							
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 ■湖北 ■新木 □布佐 □全市									
	⑤事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.5人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 172,467千円 (うち人件費 4,350千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無	部門別計画への位置づけ	(計画名) 我孫子子ども総合計画・保育				
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。保育所等整備交付金等を活用し、施設整備への補助金を交付する。			事業目的	平成27年度からスタートした子ども・子育て新制度に対応するため、市民ニーズ調査の結果を踏まえ、就労意向の潜在ニーズを含めた需要量に対する保育園及び小規模保育事業整備等を実施し、今後も待機児童ゼロを堅持する。							
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	【私立双葉保育園】令和2年度の園舎改築に伴い、施設整備への補助金を交付する。 【若草幼稚園 (幼保連携認定こども園)】平成31年度実施設計等の内容を協議・確認し、県との交付金等に関する協議を進め、必要に応じて施設整備への補助金を交付する。令和4年4月開園予定。 【私立柏風保育園】令和4年度、園舎の老朽化に伴い、園舎修繕について施設整備への補助金を交付する。							
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	私立双葉保育園の園舎改築に伴い、補助金を交付する。				直接	補助金を交付する園数	園	0	1				
令和3年度	若草幼稚園 (幼保連携認定こども園) 園舎改築に伴い、補助金を交付する。				直接	補助金を交付する園数	園		1				
令和4年度	私立柏風保育園の園舎修繕に伴い、補助金を交付する。				直接	補助金を交付する園数	園		1				
(7) 事業実施上の課題と対応	若草幼稚園の移転交渉の進展状況により、変更となることもある。			代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		* 双葉保育園の園舎改築に伴う協議	0	* 双葉保育園園舎改築工事に伴う交付金	112,078	* 若草幼稚園施設整備費 (協議・整備の進捗状況により確定する。)	0	* 柏風保育園園舎修繕に対する補助金	4,000				
		* 若草幼稚園施設整備費	0	* 施設整備交付金 (国負担額)	56,039								
				* 若草幼稚園の移転に伴う施設整備協議	0								
予算(決算)額	合計	0	合計	168,117	合計	0	合計	4,000					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	0	補助率	50%	112,078	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	80%	0	充当率	80%	44,800	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源			0			11,239			0			4,000
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.5		0.5		0.3		0.5					
	正職員人件費	4,400		4,350		2,610		4,350					
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0					
	臨時職員賃金額	0		0		0		0					
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	4,400		172,467		2,610		8,350					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2,200千円/園		57,489千円/園										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	子ども子育て支援新制度の施行に伴い実施した、今後の就労意向を含めた保育需要量に確実に対応し子育て支援を充実させるため、保育園や認定こども園、小規模保育事業の整備が必要である。整備を進めるためには、莫大な整備費用の負担が課題となっているため、本事業は必要である。また、老朽化した保育施設の修繕についても整備費用の負担が課題となるため、緊急に修繕を必要とする施設に対しても本事業は必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		市民が参画する我孫子子ども・子育て会議において、計画等について審議している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (園)	目標値 (b) (園)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	0	1	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (園)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	0	園	費用単位	10万円	●①単年度の指標: 目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標: (目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					